



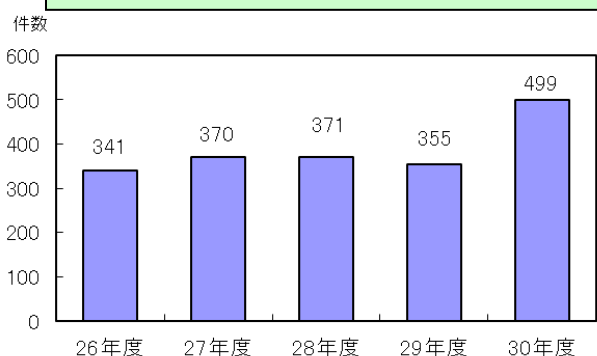
消費生活センターだより

■編集・発行 稲城市・稲城市消費生活センター運営協議会 ■問い合わせ 稲城市市民協働課 TEL.378-2111(内線 272)

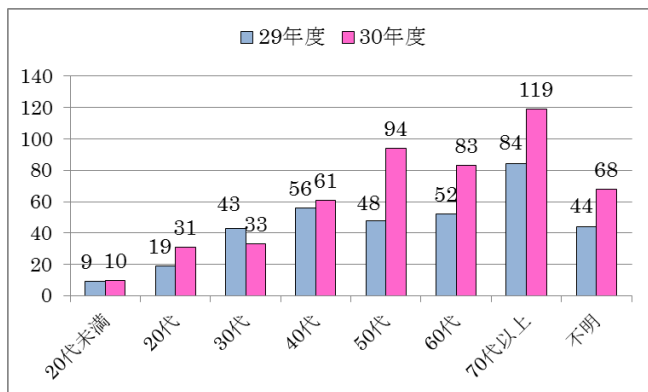
平成30年度消費者相談概要

平成 30 年度に稲城市消費生活センターへ寄せられた相談件数は 499 件、年度別相談件数の推移は以下のとおりです。

相談件数の推移



年代別相談件数



全体の件数は昨年比で、144件増加しています。50代、60代、70代以上で相談が大幅に増えています。30代では減少しています。

稲城市では、昨年度、高齢者が所属する市民団体等に悪質商法被害防止講座を出前形式により年12回開催しました。また、市内の市立中学校6校の3年生対象に、消費者被害防止のための講座を行いました。

将来の消費者トラブルを防止するため、引き続き契約についての知識や相談方法などの啓発を

行っていくことが重要と考えます。

相談件数上位5分類 (商品・サービス名別)

1位 商品一般 138件

(法務省の名称を不正使用する訴訟最終告知ハガキ、債権回収業者からの請求)

2位 運輸・通信サービス 86件

(アダルト情報サイトの不当請求、光回線業者、携帯電話料金等)



3位 教養娯楽品 44件

(新聞勧誘、貴金属訪問買取、スマートフォン等)

4位 土地・建物・設備 25件

(新築戸建住宅、物置、ガス給湯器等)

5位 食料品 22件

(健康食品やサプリメント、米、ミネラルウォーター等)

相談件数上位5分類をみると、商品一般に関する相談は最も多く、その中でも「法務省の名称を不正使用する訴訟最終告知ハガキ」が大多数を占めています。主に50代から80代の女性を対象にハガキが送付されています。封書でも訴訟最終告知が届いている場合があり、手口は巧妙化しています。2位運輸・通信サービスは、光回線業者から「安くなる」と光回線乗換勧誘を受けて契約をしたが、実際には安くならなかったという相談が寄せられました。

おかしいと思ったら、まずは消費生活センターや全国共通の電話番号「消費者ホットライン」局番なしの「188」にご相談ください。

困ったときはお気軽にご相談ください。

稲城市消費生活センター

相談電話 **042-378-3738**



月～金曜日 午前9時30分～正午、
午後1時～3時30分

住宅のカビ対策！

日本は高温多湿のため、室内でカビが生えやすい条件がそろっています。また、最近の住宅は気密性が高く湿気がこもるため、油断するとカビが発生します。

カビの好む場所① 押入れや家具の裏

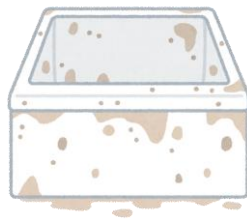
閉め切った押入れや家具の裏側などは、空気が動かないため湿りやすくなります。

押入れなどの収納場所は、すのこを敷いて空気の流れをつくり詰め込み過ぎないようにします。

家具は外壁に面して置くとカビがでやすくなります。できれば間仕切り壁に置くようにします。壁から5cm以上離すと空気の流れができてカビ予防につながります。

カビの好む場所② 浴室

室内で最もカビの発生しやすいのが浴室です。アカや石鹸カスはカビの栄養源となるため、



よく洗い流しましょう。湿気を除くため入浴後はすぐに窓を開け、乾くまで換気扇を回すようにします。タオルで壁の水滴をふき取るとより効果的です。

湿気が室内に移動しないように、浴室のドアは入浴後も閉めておきましょう。

<カビが生えた時の対処方法>

消毒用アルコールまたは漂白剤を薄めた液をしみ込ませた布で、カビを静かにふき取ります。漂白剤は色落ちするので、使う場所に注意します。



乾いた布でふき取ったり、掃除機をかけたりとカビの胞子をまき散らすのでやめましょう。作業時は窓を開放して換気し、ゴム手袋を着用してゴーグルとマスクをして、対処しましょう。

アポ電かも 知らない番号からの電話に出るのは危険

テレビの制作会社を名乗る人から電話があり、「所得は500万円より上ですか」などと聞かれたが、「答えられない」と言って電話を切った。後日警察の協力団体を名乗る者から、「テレビ番組に関して電話がなかったか。捜査で押収した名簿に名前が登録されている」という電話があった。(70歳代 女性)



<ひとこと助言>

- 実在する機関や企業、家族をかたり、家族構成や資産状況等を聞き出そうとする「アポ電」と思われる電話に関する相談が寄せられています。
- 着信番号通知や録音機能を活用し、誰からの電話か分かった上で電話に出るなどしてトラブルを避けましょう。
- 心当たりのない着信に出してしまった場合も、「〇〇です」と自分の名前を名乗らないことが大切です。家族構成や資産状況を聞かれたら、会話を続けず、すぐに電話を切ってください。
- 特に高齢者等に対しては、家族はもちろん地域でも、身近な人を見守り、様子の変化などに気をつけましょう。
- 不審な電話があったら、すぐに警察や消費生活センター等にご相談ください

(国民生活センター 見守り新鮮情報より)

参加者募集します！

『夏休み親子工作教室

オリジナルLEDランプを作ろう！』

講座では、すまいのランプ（白熱灯、蛍光灯、LED）の種類や仕組みを通じ、エコ・省エネも学べます！

日時：8月23日（金）14時30分～

会場：中央文化センター2階 講座室

定員：親子20組（小学校4年生以上）

今年は、『家型』のランプを作ります！

（申込方法等詳細は「広報いなぎ7月1日号」をご確認ください。

